

三豊市立豊中中学校の取り組み

研究主題 - さまざまなメディアを活用し、主体的に学習する生徒の育成 -

1 はじめに

本校は「自ら学び 心豊かでたくましくともに生きる生徒の育成」を教育目標とし、学習指導面では「意欲づくりによる学力の向上」に重点を置いている。

生徒は落ち着いて学習しているが、読解、判断、表現がやや苦手で、学習に対する個人差が大きい。しかし、メディアを使った授業にはどの生徒も興味を持ち、意欲的に取り組もうとする。本研究大会の発表校として、メディアを活用した「分かる授業」を展開していくことは、このような本校生徒の実態を改善するために大変有効だと思われる。

この研究の積み重ねが、「確かな学力」の向上や、進展する高度情報通信社会に主体的に対応できる生徒の育成につながっていくと考え、本主題を設定した。

メディア教育部会

- ・ 計画の立案、
- ・ 研修内容の検討
- ・ 香中研との連携 など
- 教科部会
- ・ メディア活用が有効な単元の拾い出し
- ・ 各領域における「つきたい力」の分析
- ・ 指導過程・評価方法の検討
- 教科グループ部会（2～3教科合同）
- 授業研究時の相互補助

（3）研修（メディア活用・授業改善・検証）

学習コンテンツの紹介・選択

- ・ パワーポイントなどのソフトウェアを使つての教材作り（職員間での実践発表や教え合い、外部講師による指導）
- ・ 活用効果の高い市販ソフトウェアやメディア教材についての情報交換
- 機器操作技術の研修

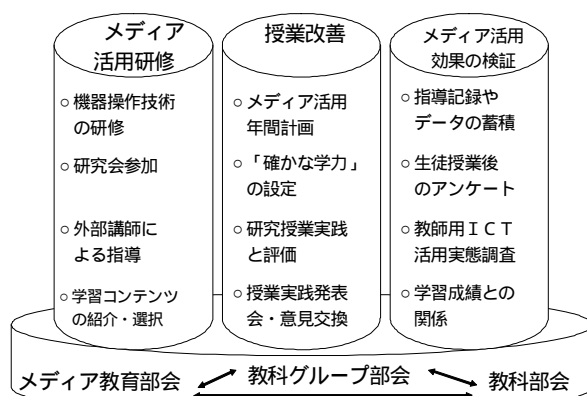
2 研究の概要

（1）研究仮説

「どのメディアを」「指導のどの過程で」「どのように活用するか」を考えた授業実践を継続すれば、メディア活用のねらいが達成され、生徒の知的好奇心が高まり、より主体的な学習活動が展開されるであろう。

（2）研究組織と内容

（構造図）



各教員の研究実践の発表及び意見交換

授業参観の視点

- 記入者名 () 第 () 期
- 参観日時 () 月 () 日
 - 学習指導者 () 教科 ()
 - 授業のポイント（指導してほしい事項） ※授業が始まる前
- ① 教師のモデル発表は課題を明確にしたか
- ② 班でのパソコンを使った練習のさせ方はよかったか
- ③ 全員が自己紹介の発表をするのに、パワーポイントは有効であったか
- ④ 発表の後の、ALT や JTE の教師の評価活動はどうであったか
- 4 参観の視点 あてはまる数字に、○をつけてください。
- 4:大賛意 3:まあまあよい 2:やや不十分 1:不十分



	評価項目	評価	コメント
1	メディア活用する授業の中で学習課題が明確になっている。	1 2 3 ④	ある程度明確だが、教師のモデル発表時に課題が明確でない。
2	学習目標を達成するために、板書・ワークシート・メディア等をバランスよく用いている。	1 2 3 ④	板書の活用が効果的だが、ワークシートの活用が不足している。
3	メディア活用における教師の発問や助言は適切である。	1 2 ③ ④	発問は適切だが、助言が不足している。
4	指導過程において、メディア活用にかかる所要時間・タイミング（導入時・展開時・まとめ時）は適切である。	1 2 3 ④	導入時の活用が効果的だが、展開時の活用が不足している。
5	メディアを活用しながら、生徒どうしの学び合いの姿勢が見られる。（話し合い、教え合い、グループ学習等）	1 2 ③ ④	話し合いの姿勢が見られるが、教え合いの姿勢が見られない。
6	メディアの活用が生徒の主体的な学習を可能にしている。	1 2 3 ④	メディアの活用が効果的だが、生徒の主体的な学習が不足している。
7	めざす「確かな学力」をつけるために、本時のメディアの活用は有効である。	1 2 3 ④	メディアの活用が効果的だが、学力の向上が不足している。

5 3の「授業のポイント」についての、意見やアドバイス

① 教師は、事前に学習目標を明確にし、導入時のモデル発表時に課題を明確にする。

(4) メディア活用のねらい(公開授業教科)

理科	写真やビデオカメラなどのメディアを活用する。空気中の水蒸気が凝結して露になる現象を演示したり、モデル化したものを提示する。それにより、実験の目的や方法をしっかりと理解させ、積極的に実験に取り組ませる。集計ソフトの活用により、各班のコンピュータから教師用コンピュータに実験結果を転送し、集計表を提示する。スクリーンの代用としてホワイトボードを用い、提示画面への書き込みや比較検討に使う。
美術	～ゴッホが「ひまわり」を通して描きたかったものとは何だろう～ ゴッホの作品・生い立ち・歴史的背景を入れた教師自作のプレゼンテーションデジタル資料を見ながら、各自がゴッホについて調べ、考え、まとめていく学習を行う。本資料を用いて、ゴッホの心情や生き方に着目させる。文化遺産としての美術的価値に気付かせ、美術を愛好する態度を養う方法の一つとして、コンピュータによる鑑賞授業を提案する。
保健体育	～メディアを活用し、「わかる」と「できる」をつなぐマット運動の授業のあり方～ 各班デジカメを使用し、技のでき具合や動きを動画で撮影する。それをPCに映し出し、技術的な課題や上手くいくための解決策に気付かせたい。またPCで模範の動画やアニメーションを映し出し、「分かる」ためのヒントや「できる」ようになるための手がかりを見つけたり、仲間との関わりを深め意見交換をしたりできるようなメディアの活用方法を提案する。
英語	題材として Multi Plus3「わたしの町」を扱う。第1時は、豊中町を紹介する教師自作資料(Power Point)を見せながら、自分の町の紹介文を書かせる。第2時では、テレビ電話ソフトSKYPEを使って、アメリカに住むALTの両親に、作った紹介文を伝えながら簡単なQ & Aを行う。実践的コミュニケーション能力を高めるためのメディアの有効な使い方を、本授業で提案する。

公開授業のQRコード →

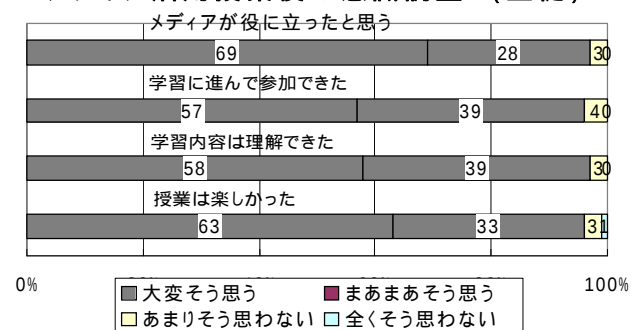


3 おわりに

(1) 成果

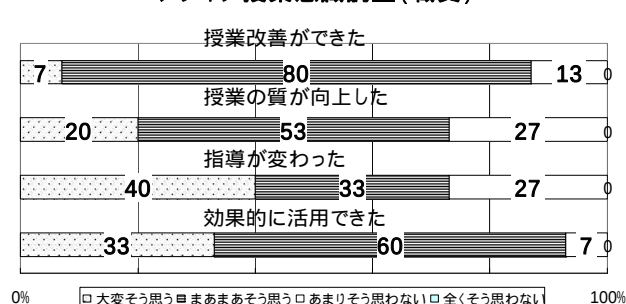
メディア活用授業後の生徒の反応
(授業への主体的な取り組みと ICT 活
用リテラシーの向上)

メディア活用授業後の意識調査 (生徒)



メディア活用に関わる職員の变化
(授業スタイルの変化、指導力の向上)

メディア授業意識調査(職員)



メディア活用授業の土台作り
年間計画への位置付けにより、積極的
なメディア活用ができつつある。職員の
機器操作技術も向上している。

(2) 課題

メディア活用に関わる職員研修の継続
→ 実践事例の蓄積と指導方法の改善
日常手軽に使えるメディア活用
ア 授業中のメディア活用を増やすた
めの機器使用環境の改善と校内LAN
の効果的な活用
イ 手軽に使えることで、継続しやすい
メディアの取り入れ方の工夫
メディア効果の検証(メディア活用の
必然性の確認)と成果の蓄積